

# KATO Report

## 第124期中間報告書

2022/4/1～2022/9/30

株式会社 加藤製作所  
証券コード 6390

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第124期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長 **加藤 公康**

#### ■上期（2022.4月～2022.9月）の振り返り

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気持ち直しの動きがあったものの、日米金利差拡大に伴う急激な円安の進行による物価上昇圧力が強まるなど依然として不透明な状況が続きました。当社グループにおいては、国内ではサプライチェーンの混乱による部品不足に伴う生産への影響や海外においては、中国の景気後退による建設需要の落ち込みもあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は前期比47億8千7百万円減の261億7千1百万円（前年同期は309億5千9百万円）となりました。一方で、2021年から推進してきた「KATO Reborn Project」(※1)とそれらを引き継ぎ策定した2022年度を初年度とする中期経営計画における各施策が実を結んできたこともあり、営業利益は3億1百万円（前年同期は▲10億3千3百万円）、経常利益は為替の影響もあり9億9千9百万円（前年同期は▲9億3千2百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は9億5千3百万円（前年同期は▲9億8千8百万円）と損益面は前期に比べ大幅に改善いたしました。

#### ■通期業績の見込みについて

第3四半期以降も国内においてはサプライチェーンの混乱や原材料の高騰、部品不足による工場稼働率低下に伴う原価の上昇を想定しております。加えて、当社主力市場の1つである中国の建設機械需要の低迷も当面は継続するものと見込んでおります。これらを踏まえ、通期の業績見通しは売上高605億円、営業利益1億円、経常利益4億円、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円に修正いたしました。(※2)

#### ■今後の取組みについて

上記理由から当期における中間配当は、見送りとさせていただきますが、まずは通期での黒字化を確実なものとし、早期に株主様への還元を高められるよう第3四半期以降も中期経営計画の各施策を推し進め、さらなる収益の改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き、当社グループへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 抜本的な収益力と体質改善を目的に開始したプロジェクト

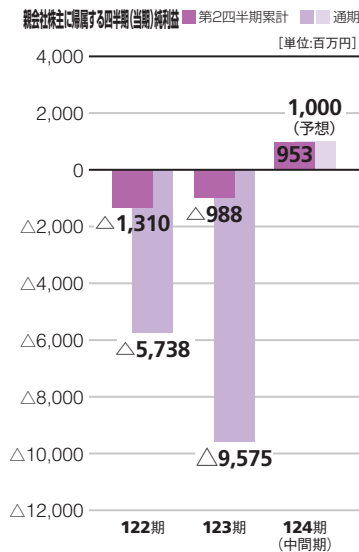
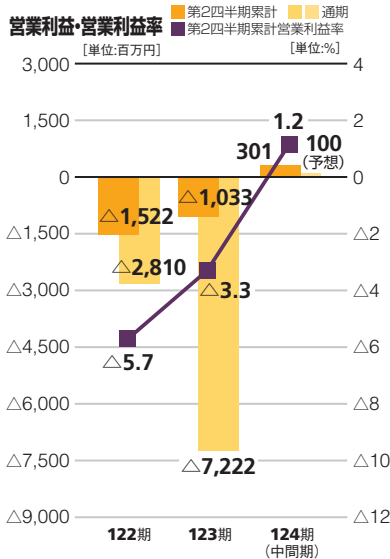
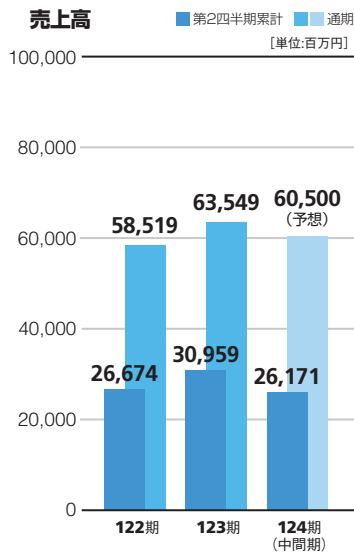
※2 2022年11月10日公表

#### ■ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

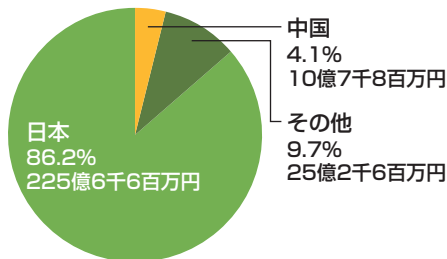
<https://www.kato-works.co.jp/>

# 連結業績ハイライト

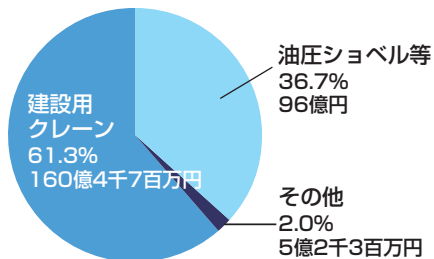


## ■ セグメント別の経営成績

### セグメント別売上高の内訳\*



### 主要製品別売上高の内訳



## 日本 (前年同期比89.3%)

国内の建設用クレーンは国内営業力強化により、微増となりました。国内の油圧ショベル等はサプライチェーンの混乱が大きく影響し、減少となりました。

## 中国 (前年同期比33.3%)

中国市場における建設需要の落ち込み継続により、厳しい販売環境に推移いたしました。

## その他 (前年同期比102.2%)

北米・欧州において需要旺盛により受注状況は順調なものの、サプライチェーンの混乱により、横ばいとなりました。

\*セグメント別売上高の内訳の金額はセグメント間調整後の金額を記載しております。

## 新製品紹介

## ▶▶ SR-250Rf II

進化した安全性と環境に優しい

新型25t吊りラフテレーンクレーン

平成26年ディーゼル特殊自動車排出ガス規制適合エンジンの搭載、低騒音型建設機械指定の取得により環境へ配慮

業界に先駆けて坂道発進補助装置を新規設定

安全機能別に3つの仕様を設定し、ニーズに合わせた安全性能を提供



## ▶▶ IC75-5

IC75-2をモデルチェンジしたクローラキャリア

ダウンサイジングした国産エンジンを搭載し、低燃費に貢献

最低地上高を確保しながら、低重心化により安定走行を実現

新型ROPS（転倒時保護構造）キャブを搭載

クローラキャリア初のテレマティクスを搭載



## ▶▶ IC100-5

市場ニーズに応えた新たなクローラキャリア

クローラ全幅を2,490mm、全高を2,690mmに抑え、輸送性を向上

新型ROPS（転倒時保護構造）キャブを搭載

クローラキャリア初のテレマティクスを搭載



## 会社概要 / 株式の概況

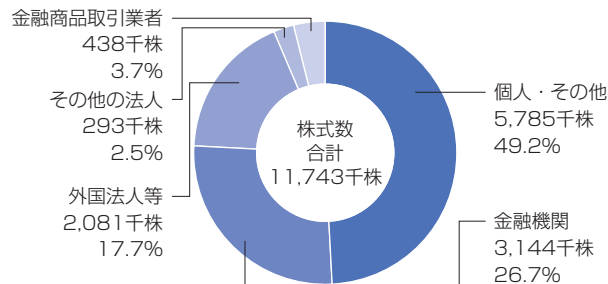
## ■ 会社の概要 2022年9月30日現在

創業	1895年（明治28年）
会社設立	1935年1月（昭和10年1月）
資本金	2,935,896,800円
主要製品	ラフテレーンクレーン（ラフター®） オールテレーンクレーン（オルター®） トラッククレーン トラック積載型クレーン クローラクレーン 油圧ショベル・ミニショベル アースドリル クローラキャリア 高速路面清掃車 万能吸引車（マルチバック®） 空港用除雪車（スノースイーパー）

## ■ 株式の状況 2022年9月30日現在

発行可能株式総数	46,800,000株
発行済株式総数	11,717,099株 （自己株式26,488株を除く。）
株主総数	7,167名

## ■ 株式の所有者別状況 2022年9月30日現在



※ 個人・その他には自己株式26,488株が含まれております

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,120	9.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	986	8.42
第一生命保険株式会社	652	5.57
株式会社りそな銀行	573	4.89
加藤公康	341	2.91
SIX SIS LTD.	250	2.14
株式会社SBI証券	233	1.99
日本生命保険相互会社	228	1.95
住友生命保険相互会社	186	1.53
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	179	1.53

（注）持株比率は、自己株式（26,488株）を控除して計算しております。

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告（ <a href="https://www.kato-works.co.jp/">https://www.kato-works.co.jp/</a> ） ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## ■ 株式に関するお手続き

お手続きの内容	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちではない株主様（特別口座の場合）
住所、姓名等の変更 配当金受領方法・振込先の変更 単元未満株式の買取請求 マイナンバーに関するお問い合わせ	お取引の証券会社	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324
株主総会資料の電子提供 制度（書面交付請求） についてのお問い合わせ	お取引の証券会社 又はみずほ信託銀行	0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
未払配当金のお支払い	右記みずほ信託銀行 までお問い合わせください。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324

（郵送物送付先・電話照会先）

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部  
☎ 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00-17:00）